

『IT導入補助金』を利用してナレッジ電承をはじめませんか？

IT導入補助金(A類型)を利用する事で、KMCの『ナレッジ電承』導入費が

経費の1/2 最大150万円まで補助されます

	通常枠		デジタル化基盤導入枠 (インボイス対応に活用可能!)				セキュリティ対策推進枠
	A類型	B類型	デジタル化基盤導入類型		複数社連携IT導入類型		
補助額	5万円 ~ 150万円 未満 下限を 引下げ	150万円 ~ 450万円 以下	会計・受発注・ 決済・ECソフト	PC・ タブレット 等	レジ・ 券売機 等	(1)デジタル化基盤導入類型の 対象経費 (左記同様)	5万円 ~ 100万円
			50万円 以下	50万円超 ~ 350万円	~10 万円	~20 万円	
補助率	1/2以内	3/4以内	2/3以内 (※2)	1/2以内		(1)デジタル化基盤導入類型と同様 (2)・(3) 2/3以内	
補助対象経費	ソフトウェア購入費、 クラウド利用料 (最大2年分(期間 を長期化))、 導入関連費		ソフトウェア購入費、クラウド利用料(最大2年分)、導入関連費、 ハードウェア購入費				サーバ・セキュリティ サービス利用料 (最大2年分) (※3)

- (※1)消費動向等分析経費のクラウド利用料は、1年分が補助対象となります。
- (※2)交付の額が50万円超の場合の補助率は、当該交付の額のうち50万円以下の金額については3/4、50万円超の金額については2/3。
- (※3) (独) 情報処理推進機構 (IPA) 「サーバ・セキュリティお助け隊サービスリスト」に掲載されたサービス

例えば、**300万円**の電承ソリューションを導入した場合、**150万円の補助**が可能となります。※ 1

※ 1 その他例
使用した経費が700万円の場合、1/2の金額は350万円となりますが、上限の150万円のみ補助されます。

※ 2 応募期間
令和5年8月1日より第五次申込の申請が開始されております。
第六次以降のスケジュールは、以下の公式ホームページよりご確認ください。

IT導入補助金2023公式ホームページ :
<https://it-shien.smrj.go.jp>

電承ソリューションとは？

設計業務（製品・金型）において、設計経験年数により『設計品質』『設計工数』が大きく変わるとのお悩みを聞かせて頂く事が有ります。本システムでは熟練者の“設計工程”、“作業手順”、“確認項目”を共有化する事により、ベテランや、若手などの個人に依存しない品質・工数実現を支援します。



特徴と効果

特徴

- 1) 設計内容、設計履歴がデジタル情報としてデータベース化可能(設計トレーサビリティ)
- 2) 設計規格・標準を遵守する設計で設計品質の安定化が、新人ベテラン問わず図れる
- 3) 過去トラ、ベストプラクティス、事例集などの参照が可能
- 4) チェックモレ防止、承認可否が一覧で監視でき、ポカミス防止

効果

- 1) 不具合・手戻りの無い“同じ失敗を繰り返さない”仕組みが構築できます。
- 2) 俗にいう設計の指摘事項が製品当たり30%は削減されます。
- 3) 不良・手戻りの無い設計品質の安定、開発期間の短縮につながります。

